

各種研修会

新宿区スポーツ推進委員は年間10回以上の研修があります。

ワンデー研修



毎年、1日かけて様々なスポーツに関する知識や技術力向上を図るために研修を行っています。令和4年度は、町田市立総合体育館で行われた「ブラインドサッカー日本選手権」の決勝戦を観戦しました。令和5年度は3月にオリエンテーリングとモルックの研修を行います。

第一ブロック研修会(四区合同、千代田・中央・港・新宿)



4年に一度担当区として回って来る第一ブロック研修会、令和4年度は新宿でした。「共生社会の実現を目指して」をテーマに障がい者の目線から疑似体験を通して障害を自身で感じ取る事が出来た研修でした。

全国スポーツ推進委員研究協議会(令和5年度青森大会)



令和5年11月16日、17日の2日間にわたり、青森県青森市で、「スポーツで煌めく笑顔のために」をテーマに開催され、7名出席しました。この他に、関東スポーツ推進委員協議会や生涯スポーツ・体力つくり全国会議もあり、スポーツ推進委員にとって学ぶ機会になります。

令和4年度・令和5年度の表彰者 おめでとうございます

令和4年度	金子 和子
全国スポーツ推進委員連合30年勤続スポーツ推進委員表彰	
令和5年度	梶山 英樹
東京都スポーツ推進委員功労者表彰	藤原 泰宏
東京都スポーツ推進委員功労者表彰	野村 千尋
東京都スポーツ推進委員功労者表彰	橋本 純
関東スポーツ推進委員協議会表彰	多部田 里志
全国スポーツ推進委員功労者表彰	南雲 千恵
全国スポーツ推進委員連合一般賛助会員表彰	

編集後記

若いスポーツ推進委員の発案で、例年表紙を飾っていた会長・課長の言葉を対談形式にしました。2年間の振り返りと興味深い話が引き出されました。この2年間の研修会、大会、イベントを通して、大きな成果がありました。

多くの方に読んでいただけたら幸いです。ぜひイベント等に参加し、共にスポーツを楽しみましょう。

コミュニティスポーツ大会

地区大会



中央大会



2年ぶりに新宿コズミックセンターにおいて新宿10地区の代表選手が一同に集まり、日々の練習の成果を発揮し、楽しみながらも熱気あふれるコミュニティスポーツ大会が無事開催されました。

新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン



令和6年1月28日(日)天気晴れ。スポーツ推進委員は給水や誘導のボランティアで大会を支えました。フィニッシュの給水では、走り終えた選手の皆さんと、お疲れさまと笑顔で交流できました。

レガス祭り



スポレク 2023



毎年、両イベントは春と秋に開催されます。スポーツ推進委員は主に体力測定を行います。年に1回ご自分の体力を確認し、健康、体力増進の参考にしましょう。

親子 de ボッチャ



区立幼稚園・子ども園へ伺うと親子の元気一杯な笑顔に出会えます。子どもも大人も誰でも共に参加し楽しめるボッチャの魅力が人々の縁を結びます。令和6年度もスポーツ推進委員はみなさまの所におじゃまします。



新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本書は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

古紙合率80%

白色度70%再生紙を使用しています。

しんじゅく No.39



スポーツ推進委員だより

■発行日 令和6年3月18日 ■ 新宿区スポーツ推進委員協議会
■発行 新宿区地域振興部生涯学習スポーツ課 新宿区歌舞伎町1-4-1

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法で定められている地域におけるスポーツ推進のコーディネーターです。
新宿区では、四谷・箪笥・櫻町・若松・大久保・戸塚・落一・落二・柏木・角筈の10地区で総勢37名のスポーツ推進委員が活動しています。

ボッチャ新宿小学生カッププレ大会



東京2020オリパラのレガシーとして新宿区内の小学生を対象とした「ボッチャ新宿小学生カップ第一回大会」が、8月27日(日)に新宿コズミックセンターで行われました。この大会には19チームが参加し予選リーグを経て上位8チームがトーナメント戦に臨みました。



ボッチャ新宿小学生カップ第一回大会

決勝戦は同じ小学校同士の戦いで最後まで保護者の方の熱い応援があり、非常に盛り上がりいました。
この大会は新宿区スポーツ推進委員協議会の主催事業で、新宿区及び新宿未来創造財団の協力をいただき、ボランティアとして目白大学の学生がお手伝いしてくれました。第2回大会は令和6年8月に予定しています。



私たちスポーツ推進委員の主な役割は?



- スポーツの直接的な実技指導、コミュニティスポーツ大会、地域スポーツ・文化事業等を通じて、スポーツ活動に親しめる環境をつくります。
- 定例会に出席し、地域の実情や区のスポーツ振興施策・方針等を共有します。
- 町会・自治会・青少年育成委員会・学校・PTA等と直接的に関わり、区のスポーツ振興施策・方針等について、地域の理解や協力を促し地域の意向を集約し行政に伝えます。
- 区の推進する事業の企画・運営・補助を行うなど、区に対して協力します。
- その他、区の地域スポーツ振興と地域コミュニティの醸成を推進していくため、スポーツを通じた地域課題の解決に必要な取組みを行います。

推せ！推せ！スポ推★

(スポーツ推進委員協議会)

地域振興部生涯学習スポーツ課

高橋課長 × 多部田会長 スポ推対談



【高橋美由紀】
地域振興部生涯学習スポーツ課長
登山が趣味。職域の山岳部代表。
最近の推しは「激辛食べ物」。激辛のインスタをしている。

土が靴につくだけでも
泣いていました

自己紹介とスポーツとの関わり

課長：スポーツ推進委員の担当になって3年目になります。自身のスポーツとの関わりとしては、山に登ります。子どもの頃に山好きの父に連れられて高尾山などに行きましたが、当時は土が靴につくだけで泣くような子どもだったので、山には向いていませんでした。そこから転機が訪れたのは、高校生の頃に、友人の誘いで夏の沢登りを体験したことです。そこからドハマリして、海外の山まで登るようになりました。現在も新宿区と特別区の山岳部の代表をしています。

司会：本格的ですね。富士山にも登りますか？

課長：高所訓練で登りました。ウォーミングアップですね(笑)。

司会：恐れ入りました。他に推しはありますか？

課長：推し。。。というか、タイ料理をきっかけに好きになった、激辛料理をインスタにあげています。スポーツとは関係無いのですが。

会長：いや、汗もかくし、激辛を吃ることはスポーツかもしれませんね(笑)

司会：ありがとうございます。多部田会長、自己紹介お願いします。

会長：スポーツ推進委員は2000年から

スポーツ推進委員協議会

高橋課長 × 多部田会長 スポ推対談



【多部田里志】
新宿区スポーツ推進委員協議会会长
スポーツ大好き。

なる瞬間があります。山岳部の代表をしていると判断を求められたり、意見をまとめる場面など、難しさを感じることがあります、それも含めて、スポーツを通して学ぶことが多く自分自身の成長につながっています。

会長：山ですれ違うと自然と挨拶する場面を良く見かけます。これもスポーツの良いところだと思います。

モチベーションを上げるには スポ推今年度の振り返り

課長：令和5年度になり、コロナが5類に移行してやっと思う存分イベントが自由に出来るようになりました。令和3年度の着任当初は、イベントも中止になりスポーツ推進委員の方々をパンフレットで見るぐらいでした(笑)。本年度のスポーツ推進委員協議会が主催したボッチャ新宿小学生カップ第一回はとても印象に残っています。



それぞれの目的で楽しめる スポーツでの関わりの良いところ なぜスポーツなのか

会長：何かの目的に向かうところが良い。勝負、仲間作り、健康づくりなど、それぞれ目的が見つかれば良い。仲間づくりというところでは、共通の話題になります。

司会：世界共通のルールで行うので、言葉や国の壁を超えるものがありますね。

課長：コミュニティスポーツ大会の地区大会だと、初対面のメンバーで即席チームを作ることもありますが、良いプレーがあると自然に盛り上がります。そんな一体感が生まれるのがスポーツの良いところです。応援している人たちも一つに



会長：オリパラが終わり、全体的にモチベーションが下がっているのを感じていました。スポーツ推進委員として何を目的にやっていけば良いのかと考えて、自主企画のボッチャ小学生カップを提案しました。自分たちの意識の底上げになった一年でした。来年、再来年と協議会全体会としてモチベーションを上げるにはどうするか話し合えると良いです。

課長：初めての自主企画には、生みの苦しみもあったと思います。

会長：ボッチャについては、幼稚園などで子どもたちに教える機会もあり、子どもを中心としたイベントが出来ないかと考えました。

課長：準備の段階から第一回に向けて同じ方向を向いて進められたことは、本当に良かったです。

司会：これまでにスポーツ経験がなくても、スポーツを広められる方が求められているんですね。

課長：そして、幅広い地域で色々な方の個性を発揮し、その力を結集していただくことが大事です。

会長：スポーツに参加するというのは、スポーツする人、見る人、支える人がいて、スポーツ推進委員は「支える人」にあたると思っています。スポーツに楽しめる環境を作るというが必要です。スポーツが得意ではない方でも、参加者と同じ立場で一緒に学ぶことが、きっかけの場となることもあります。色々な役割があるので、誰でもやる気があればできると思います。

司会：未経験の方が入っても大丈夫ですか？

課長：充実した研修制度があります(笑)。

会長：そんなに難しいルールのスポーツをやっているわけではないです。知らない競技に興味を持って楽しめるかどうかが大事だと思います。興味を持てる人は、他の人にも競技をオススメ出来る人だと思う。

興味を持って 楽しめるかどうか スポ推のポテンシャルとは？

司会：スポーツ推進委員になるための適性はありますか？

課長：区では体操やウォーキング、レクリエーションも含めて広くスポーツと捉えています。スポーツが上手い人というだけではなく、年齢や障害も関係なく、体を動かしたり交流の場を提供してくれるようになっていただきたいです。



スポーツ推進委員協議会が 関わる推しのイベントは？

会長：コミュニティスポーツ大会が基本的な活動の一つだと思います。地域の人たちがスポーツする機会を作り、地区大会で地域の代表者を出します。10地区合わせると参加者は1,800人を超える大きなイベントです。

課長：地区大会で勝ち進んだ方が参加する中央大会も参加者は360人でした。本当に多くの地域の方々が関わっています。

イベントではないですが、推したいのは研修です。都、区の開催だけでなく、協議会の研修部の皆さんのお話もアイデアでとても内容が充実していると感じています。

良い人が多いんです～

スポーツ推進委員の
メリットデメリットは？

課長：メリットとしては、非常勤公務員になるので立場が明確です。あとは、人と人とのつながりが出来ます。そして、何より地域に求められています。デメリットとしては、地域活動のために自分の時間を費やすなければならないことです。

司会：メンバーはボランティア精神が染みついている方が集まっているイメージです(笑)。そこに負担を感じていないのかもしれませんね。つまり、良い人が集まっているんですね。

課長：良い人と出会える場ですね。

会長：これまでの経験からしても、やっぱり色々な人と知り合いになれるというのが一番だと思います。参加者から声をかけられることもあるし、そこから広がる輪もあります。その積み重ねで今があるのかなとも思う。

司会：新人の僕としては、知識が増えました。スポーツのルールを知れたのもメリットです。人の広がりで言うと、他の地域のスポーツイベントに呼ばれたこともあります。これはメリットかどうかわかりませんが。

会長：あとは、様々な場所で取り纏めをすることで、本当に学びが多いです。

若い担い手が重要

スポーツ推進委員のこれからは？

課長：スポーツ振興は、地域が主体となって発展していくのが理想です。それを支えるスポーツ推進委員の役割は重要です。若い担い手の力も期待しています。柔軟な発想で新しいアイデアをたくさん出してもらい、刺激し合えるといいですね。

会長：個性的な力をどんどん発揮して欲しい。メンバーは自分のやりたいことを進めるうえで、もう一人の自分が全体を見るような、そんな視点も持って取り組んでいきたいです。

司会：スポーツ推進委員を通して様々な学びがあるとわかりました。たくさんの人に経験してもらいたいです。本日は貴重なお話をありがとうございました。